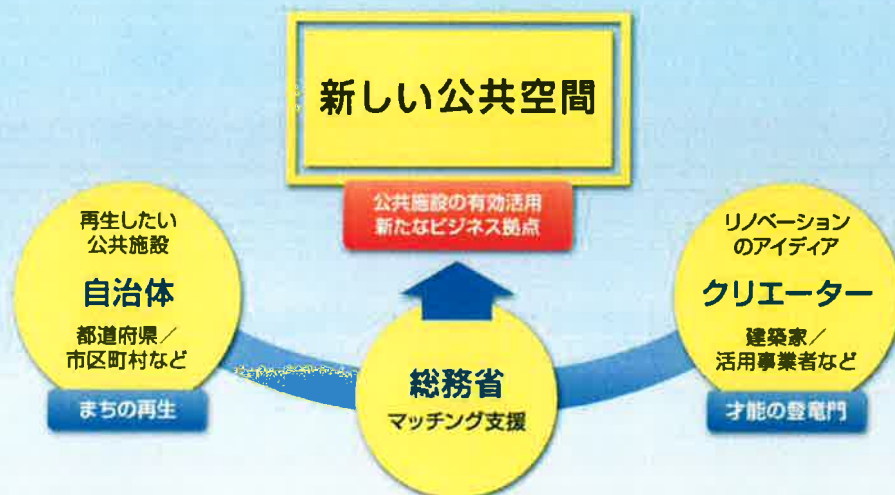


公共施設オープンリノベーション マッチングコンペティション

クリエイティブなアイデアと、それを求める自治体、その夢を実現する「縁結び」事業です。



審査員からのメッセージ

北川 フラム氏 (アートディレクター/株式会社アートフロントギャラリー代表)

いっとききりの、しかしそれ故の人の幸せは、やわらかで爽やかなコミュニティに住むことだと思う。その意味で学校や公民館、図書館などの公共施設は、これまでそこに生きた人々の想い、地域の生活文化の積層が重なった貴重な場だ。その時間を生かして再生することの意味は貴重だ。

関 研吾氏 (建築家/東京大学教授)

リノベーションによる資産の有効活用は、建築・都市の世界での大きなテーマで、世界的に見ても画期的なコンペ。その場所にしかない「one and only」の素材、技術、デザインを活かした面白い応募を期待している。

古谷 誠章氏 (建築家/早稲田大学教授/有限会社 NASCA 一級建築士事務所代表取締役)

全国の自治体が抱える遊休化した公共施設、これを生かすアイデアは民間のデザイナーたちのフレッシュな頭の中に無限にあります。昨年もそんな多くの出会いを生み、チャンスを形にする後押しをしました。

政所 利子氏 (株式会社玄代表取締役)

地域環境時代における世界的な技術改革、社会実験の時代です。環境共生の思想の具現化と実践、未来志向のリノベーションを必須としています。若いクリエイターによる高い志とリーダーシップに期待する事業です。

プロセス

自治体が再生したい公共施設を
WEBサイト(公共施設再生ナビ)に登録

クリエイターは公共施設リストから
提案したい物件を探し、自治体へアイデア提案

自治体为实现したいアイデア提案を選出し、
WEBサイト(公共施設再生ナビ)に登録

応募された提案の中から審査員により
優秀作品を選出、発表

リノベーションプロジェクト始動!

作品応募方法等

クリエイターから自治体へのアイデア提案については、随時受け付けています。

総務省のモデル事業としての支援については、国の平成28年度当初予算の成立が前提となります。作品提出締切(クリエイターから自治体へのアイデア提案締切)は5月上旬を予定していますが、詳細については、以下URLの「公共施設再生ナビ」をご覧ください。
<https://www.gservice.cloud.jp.net/renovation/>

連絡先

総務省地域力創造グループ地域政策課
TEL:03-5253-5523 / E-mail:chisel@soumu.go.jp

主催:総務省

公共施設オープン・リノベーションマッチングコンペティション

総務省担当者への聞き取り結果

- ・本事業は平成27年度より開始。昨年は8団体選出されている（予算1.7億円）。
- ・3月8日現在、70件の施設が自治体により登録されている。（現在非公開案件を入れると100件超え）
- ・「公共施設再生ナビ」は、コンペ参加に関わらず、マッチングサポートを行っており、自治体からの登録及びクリエイターからの提案は現在も受け付けている。
- ・募集要項等は予算成立次第、公開予定。（昨年度募集要項によると、提案書、概算見積書（指定様式）、提案者概要等を添付することになっている。）（予算1.3億円）
- ・応募者は自治体と応募前に直接コンタクトをとることは可能であり、むしろ自治体にとってもその方がよりよい提案を受けられると考えている。
- ・自治体での審査選定は自治体に任せている。選定後コンペに応募するかどうかは両者の判断による。コンペに参加する場合は、自治体がクリエイターと共同で応募する。
- ・コンペでの選出は審査員（北川フラム,隈研吾,古谷誠章,政所利子）と総務省で決定する。審査基準は募集要項に掲載。継続的な運営体制など、将来にわたっての提案も必要。
- ・コンペではクリエイターに直接賞金はでない。本事業費から選出された自治体への委託金が支払われる。
- ・委託金は、選定団体数と成績（順位）と提案事業費により総合的に割り当てられる。（昨年度は総務省からの事業委託費と同額までは自治体独自負担を可とした。8団体に1300万円～3700万円。）
全額支払われない場合でも選出された後にプロジェクトに着手しないことはないようにしている。
- ・総務省は自治体に委託、自治体はクリエイターと契約をする。

